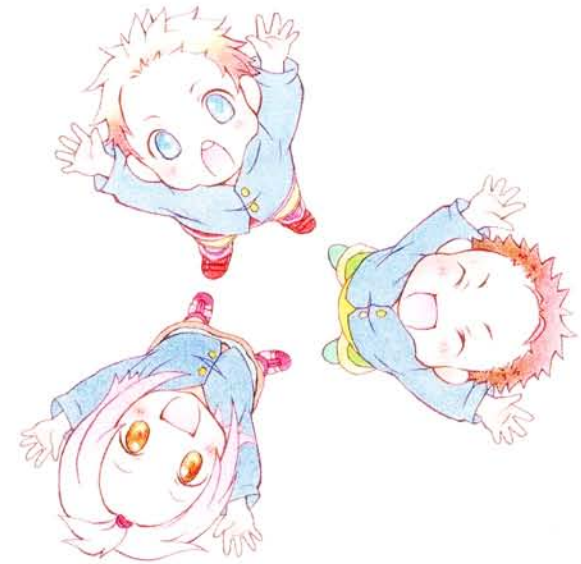


障害のある子どもへの

作業療法



一般社団法人
高知県作業療法士会 広報部

作業療法 (OT) とは

(Occupational Therapy)

身体または精神に障害のある者、またはそれが予測される者に対してその主体的な生活の獲得を図るため、諸機能の回復・維持および開発を促す作業活動を用いて行う治療、指導および援助を行います。

(社) 日本作業療法士協会定義

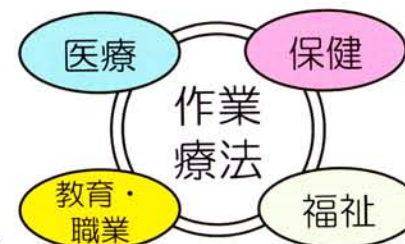
「作業活動」とは…

作業活動 (Occupational Activity) とは、ご飯を食べる、歯みがきをする、顔を洗う、服を着る、体を洗う、など毎日の生活で行う身の回りのことだけでなく、おもちゃで遊ぶ、絵を描く、本を読む、勉強をする、楽器を演奏する、など人が人として生きていくために行うあらゆる活動を指します。

障害があっても自分のやりたいことができる生活が実現できるように、様々な作業活動を用いて治療や援助をしていくのが、私たち作業療法士です。

作業療法の実施領域

作業療法は子どもからお年寄りまで、生活に障害のあるすべての人に関わります。医療をはじめ、保健、福祉、教育・職業領域と幅広い分野で展開しています。



障害のある子どもへの作業療法

障害のある子どもへの作業療法は発達に遅れ又は障害のある子どもたちに対して、遊びを中心としたいろいろな作業活動を利用して、運動能力や生活能力、学習の基礎的な能力、心の豊かさ、人とのつきあい方などに関わります。

また、現在の生活上の困りごとだけではなく、家庭や学校そして社会でいきいきと暮らせるように、治療・指導・援助を行います。

対象疾患

脳性麻痺、脳外傷、精神発達遅滞、筋ジストロフィー、分婏麻痺、学習障害、自閉症、その他

子どもへの作業療法の目的

1. 粗大運動機能の発達を促す

日々の生活や遊びに必要な首のすわりや座る、立つなどに加え腹ばいや四つばい、歩くことなどの獲得に向けて治療・指導・援助を行います。



2. 巧緻運動機能の発達を促す

つかむ、つまむ、はなすなどの手の動作の発達を、手や指だけでなく肩や肘なども含めて促していきます。

その中で、日々の生活に必要な細かな運動や両手での動作などの獲得に向けて治療・指導・援助を行います。



3. 日常生活活動能力の発達を促す

字を書くなどの学校生活に必要な学習活動も含めた、ご飯を食べる、服を着る、トイレ、お風呂などの日々の生活に必要な能力の獲得に向けて、治療・指導・援助を行います。



4. 学習基礎能力の発達を促す

学習にとって必要な形、数、色、方向、大きさなどの概念の発達を促します。



5. 心理・社会性の発達を促す

種々の遊びやゲーム、グループ活動などを通して情緒の安定や欲求、情動をコントロールする力の向上、人との関わり方などの発達を促します。



作業療法の対象は幅広い！！

作業療法士は脳性麻痺、精神発達遅滞、自閉症など、さまざまな障害のある方を対象としています。

乳児期や幼児期だけでなく成人期以降も、それぞれのライフステージに合わせた指導、援助を行います。また、障害のある方への直接的な関わりだけでなく、家族等への支援も行います。

特別支援教育への関わり

最近では特別支援教育への関わりも増えてきており、保育所や幼稚園、小学校などに対して、障害のある子どもたちへの関わり方の指導を行っています。

【問い合わせ先】

一般社団法人 高知県作業療法士会 事務局

TEL・FAX 088-841-2460 <http://kochi-ot.main.jp/>